

# コインランドリーにおける微生物汚染

広島女大家政 水野上与志子

目的 急速な生活様式の変化に伴い 集合住宅地や学生居住地などにコインランドリーの普及をみるに至った今日 序易な開業や経営状況における 環境衛生や衣服の衛生状態をとりあげ 洗濯に伴なう衣服地の微生物汚染、洗たく・乾燥機の微生物汚染について実験し その対策としての殺菌除菌効果について実験的に検討した。

方法 アンケート調査：コインランドリー利用の実態及び問題点を明らかにするためアンケートを行い利用者147名の調査を得た。洗たく機：小型ランドリー機4種，大型ランドリー機3種，ドライ機3種。スタンプ培地：一般細菌用普通寒天培地，真菌用サアロ一培地，大腸菌群用デソキシコレート培地，黄色ブドウ球菌用培地。供試布：綿，羊毛，アクリル，ポリエステル繊維布。殺菌用薬剤：カテオン界面活性剤，次亜塩素酸ナトリウム，ドライ用溶剤：パークロールエタレン，ドライソープ。

結果 1)アンケートより1週間にも1~3回利用者82%。苦情・意見として「管理衛生」を挙げた者が30%あった。2)洗たく機の部位別汚染は小型ランドリー攪拌型に多く、各部取り手部位が汚染されてをり、黄色ブドウ球菌が取り手部位から検出された。大型ランドリー機は小型洗たく機より少なく、回転円筒型より攪拌型の汚染が多い。ドライ機は取り手部位以外には微生物汚染はみられない。3)繊維布への微生物逆汚染は親水性繊維(綿，羊毛)が合成繊維(アクリル，ポリエステル)より多い。4)微生物汚染の多い部位はカテオン界面活性剤か次亜塩素酸ナトリウム溶液で拭きとると殺菌除菌効果がある。5)利用者側は手洗いの実行、汚染物復の処理を考慮すべきである。